
2015年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2014年11月13日

サマリー

＜上期の状況＞

- **前年比で増収だが、増収幅は4.2%にとどまる**
 - － 中国の低迷、アジア地域の成長鈍化が影響
 - － 米州と国内は、受注が堅調に推移
- **中期経営計画達成に向けて、本部・子会社の組織を強化**
 - － グローバル化に向けた戦略的費用。粗利の増加幅でカバーできず、減益要因に
- **8月に北米最大のチェーン製造会社である PEERLESS社買収が完了**
 - － チェーン製品の品揃え拡充、チェーンの生産強化 を目的
 - － 買収資金は全額借入にて。財務面での大きな影響はなし

＜下期の見通し＞

- **中国・アジアが引き続き軟調と予想されるが、堅調な米州と国内で補う**
 - － 上期の利益面での遅れの回復を見込む
 - － 下期から連結業績に加わる PEERLESS社 とのシナジー見込む

＜通期業績予想＞

- **下期からPEERLESS社の業績が加わり、通期業績を上方修正（11月6日発表）**
- **当社として初めて売上高500億円の大台を視野に**

2015年3月期 第2四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

中長期計画進捗状況

2015年3月期 第2四半期 決算ハイライト

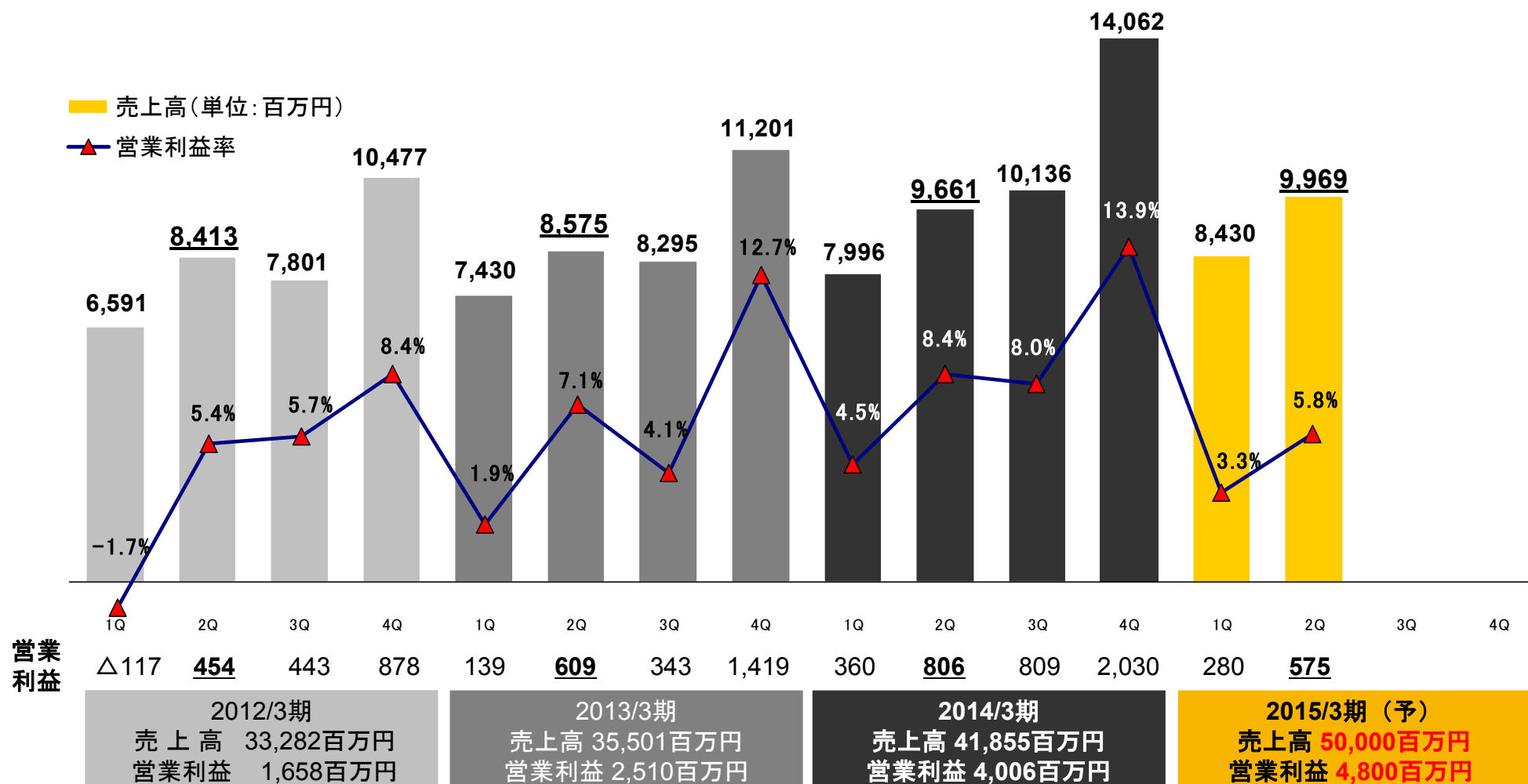
(単位：百万円)	2014/3期 2Q			2015/3期 2Q		
		対売上	前年 同期比		対売上	前年 同期比
売上高	17,657	100.0%	10.3%	18,400	100.0%	4.2%
営業利益	1,166	6.6%	55.9%	855	4.6%	▲26.7%
経常利益	1,200	6.8%	93.1%	892	4.8%	▲25.6%
当期純利益	744	4.2%	169.9%	504	2.7%	▲32.2%

注 為替レート(2014/3期2Q→2015/3期2Q) :

USD 98.9円 → 103.0円 CAD 95.9円 → 94.6円 EUR 130.0円 → 138.9円 RMB 15.4円 → 16.7円

売上高および営業利益率(四半期比較)

前年同期比では4.2%の増収も
アジア・中国の低迷を受けて減益



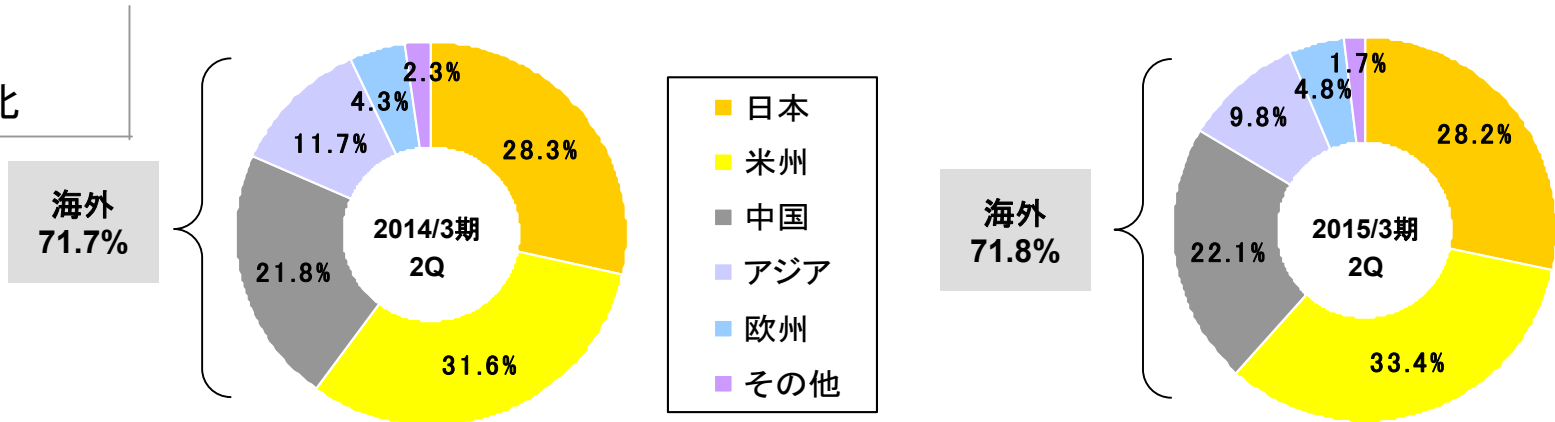
地域別の状況

グローバルな事業展開を引き続き促進、海外売上比率は72%

(単位:百万円)	2013/3期 2Q		2014/3期 2Q		2015/3期 2Q		前年同期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	16,005	100.0%	17,657	100.0%	18,400	100.0%	743	4.2%
日本	5,695	35.6%	5,002	28.3%	5,182	28.2%	179	3.6%
米州	4,591	28.7%	5,579	31.6%	6,151	33.4%	572	10.3%
中国	3,271	20.4%	3,853	21.8%	4,073	22.1%	219	5.7%
アジア	1,518	9.5%	2,068	11.7%	1,796	9.8%	▲272	▲13.2%
欧州	591	3.7%	753	4.3%	891	4.8%	137	18.3%
その他地域	337	2.1%	399	2.3%	304	1.7%	▲94	▲23.8%

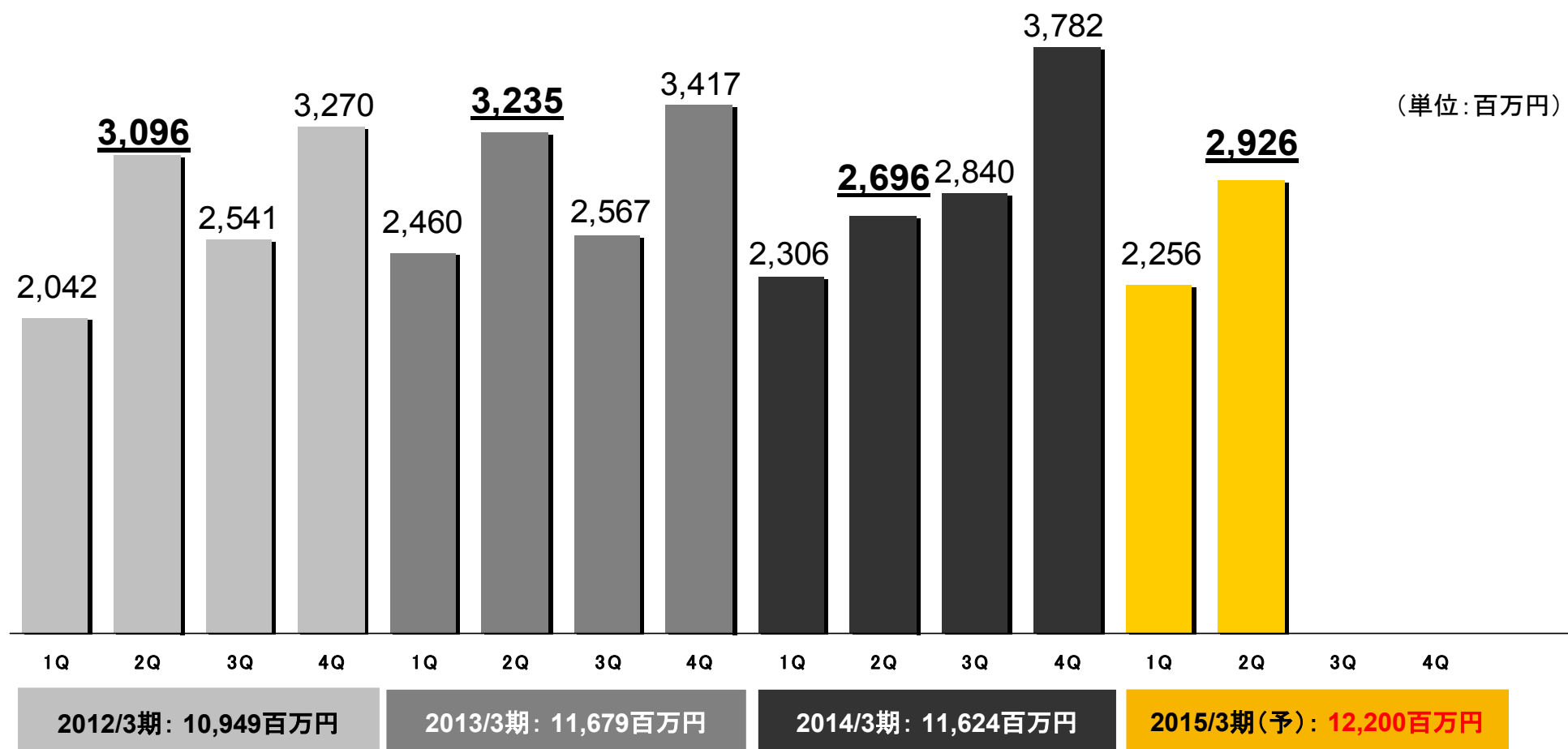
注 為替レート(2014/3期2Q→2015/3期2Q) : USD 98.9円 → **103.0円** CAD 95.9円 → **94.6円** EUR 130.0円 → **138.9円** RMB 15.4円 → **16.7円**

地域別 売上高構成比



地域別売上高(日本)

- 期初に消費税増税の反動が見られたが、以後は全般的な拡大基調が継続
- 建築土木の工事に遅れが見られるものの、設備投資向け需要は堅調に推移

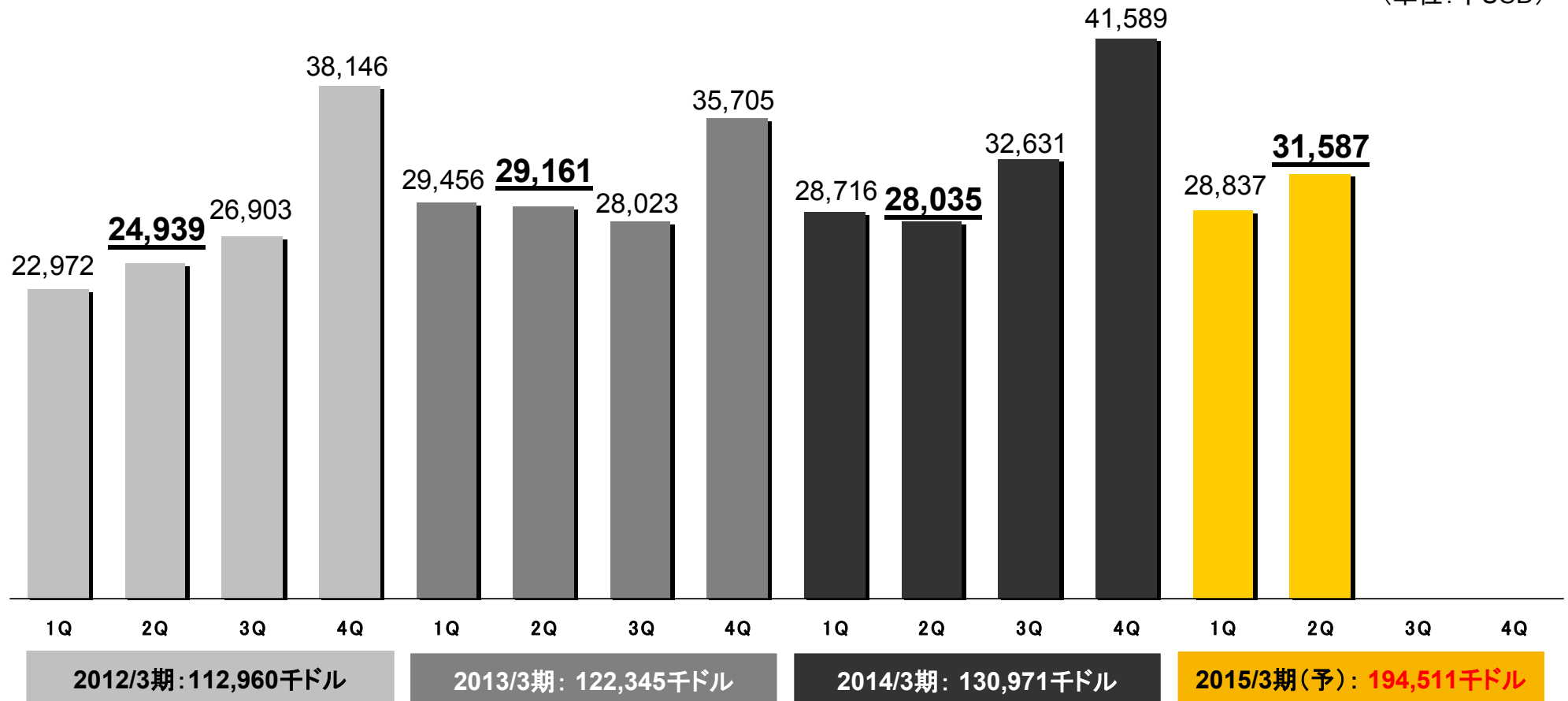


地域別売上高(米州)

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高(千ドル換算)を加算した金額の推移

- 米国は製造業ほか幅広い産業向けに需要が堅調に推移、ドルベースで10.8%増
- カナダは前年同期比で減少も、前四半期から回復し、受注も前年並みに
- 米州全体では為替効果もあり 10.3% 増と、好調を維持

(単位:千USD)

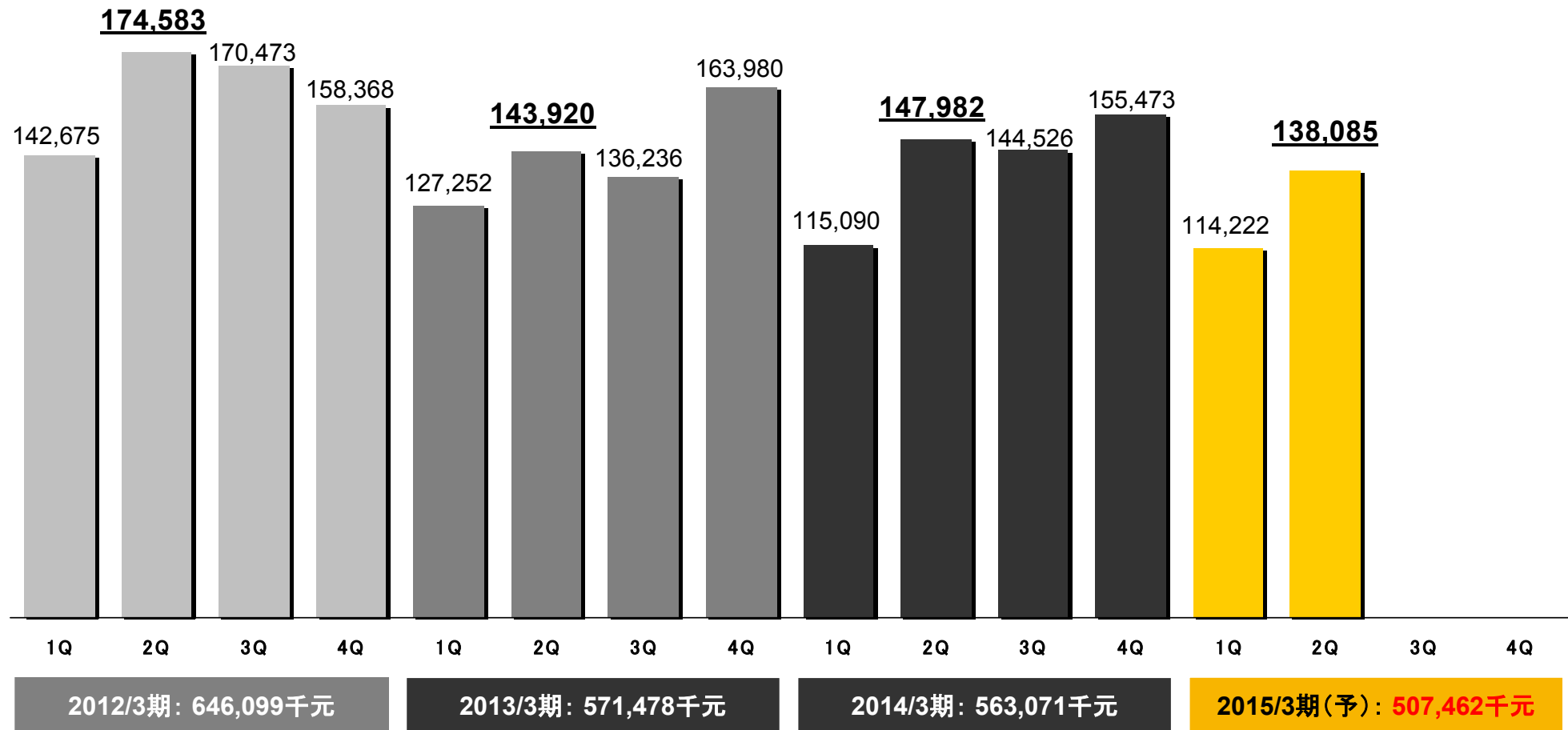


地域別売上高(中国)

※中国は1-12月決算

- 景気は依然として先行き不透明
- 現地通貨ベースでは減収も、日本円換算後で5.7%の増収

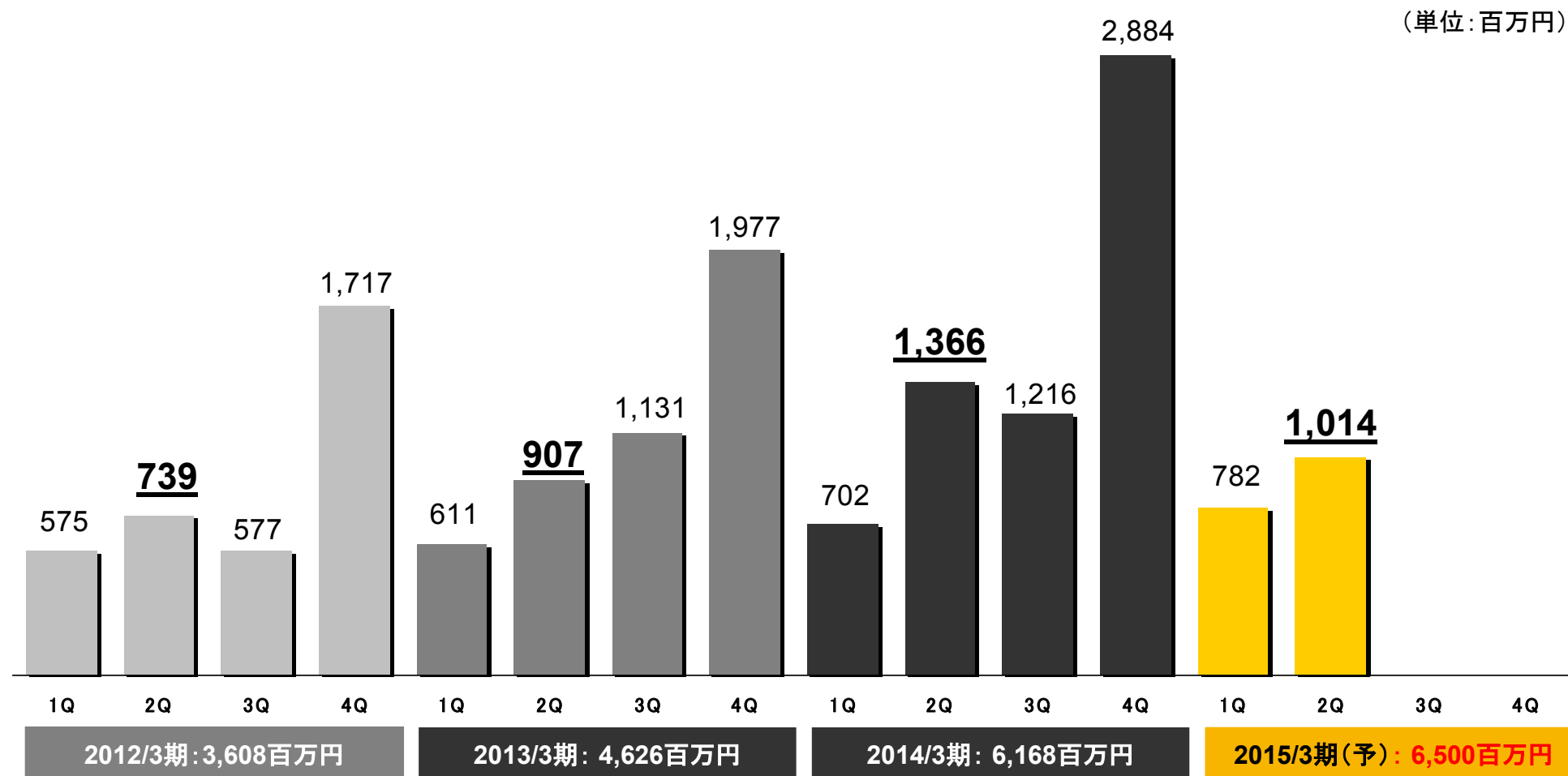
(単位:千RMB)



地域別売上高(アジア)

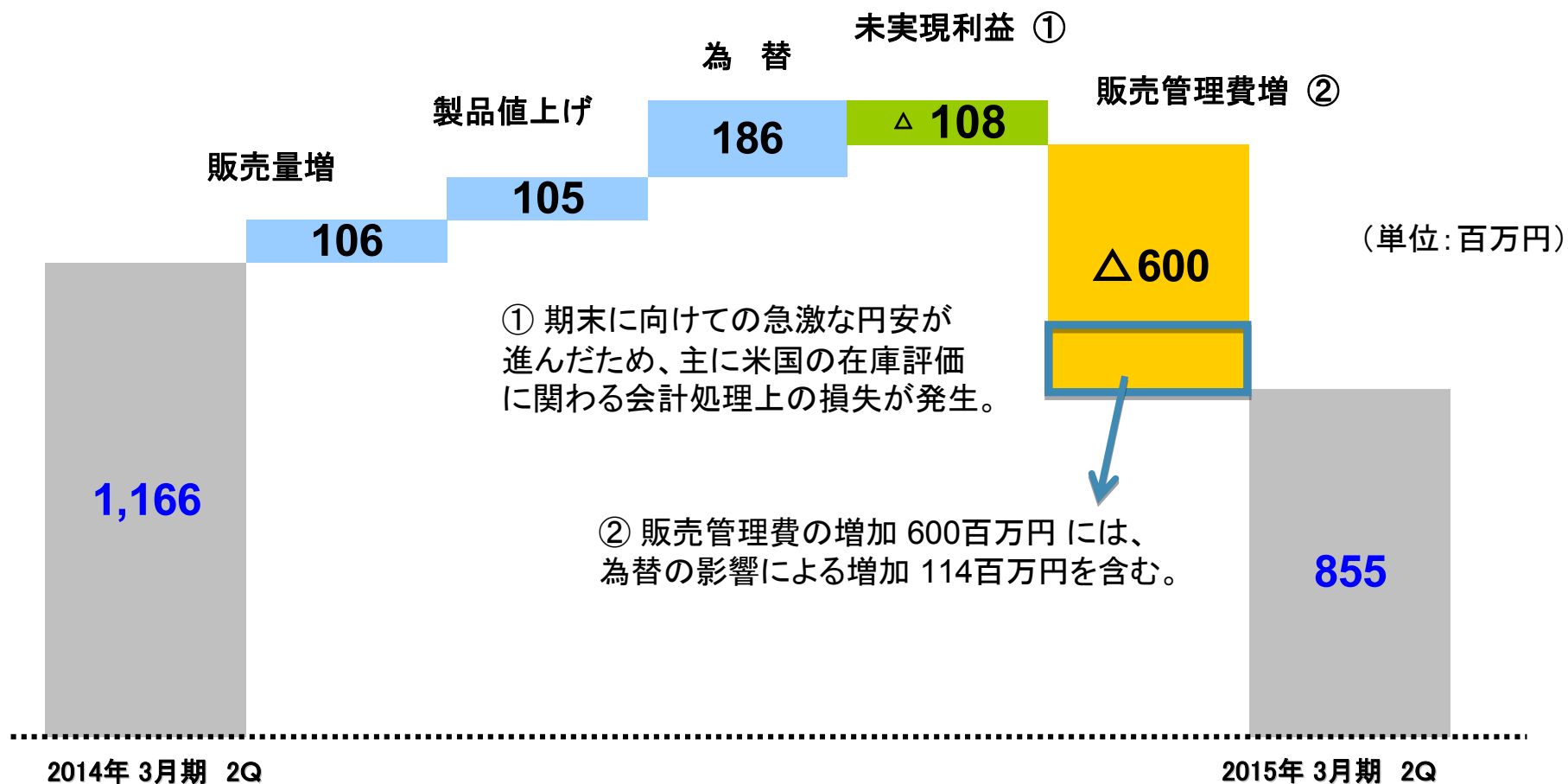
※タイ、韓国は1-12月決算

- マクロ経済、政情など不安定要素あり、成長の勢いに鈍化
- 韓国、インドではクレーン受注が堅調も、タイの落ち込み挽回には至らず
- 全体では13.2%の減少



営業利益の比較

中計達成に向けた本部・子会社の体制強化費用あり、減益



2015年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2014/3期 期末	2015/3期 2Q	増減額
流動資産	27,920	35,607	7,686
現金・預金	6,230	8,139	1,908
受取手形及び売掛金	9,414	9,182	▲232
たな卸資産	10,327	15,958	5,631
その他	1,948	2,326	377
固定資産	13,181	20,371	7,190
有形固定資産	10,003	11,367	1,363
無形固定資産	1,194	7,617	6,422
投資その他資産	1,982	1,386	▲596
繰延資産	5	3	▲1
資産合計	41,108	55,982	14,874

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2014/3期 期末	2015/3期 2Q	増減額
流動負債	12,528	28,249	15,720
支払手形及び買掛金	5,249	6,258	1,009
短期借入金	2,621	16,904	14,282
その他	4,657	5,086	428
固定負債	6,576	5,064	▲1,512
社債	1,000	0	▲1,000
長期借入金	2,805	2,266	▲538
その他	2,771	2,797	26
純資産合計	22,003	22,669	665
負債純資産合計	41,108	55,982	14,874

連結キャッシュフロー

単位：百万円 (百万円以下切捨て)	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	2,074	1,353	△721
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,190	△7,816	△5,625
財務活動による キャッシュ・フロー	73	9,028	8,954
現金および現金同等物 に係る換算差額	127	△774	△901
現金および現金同等物 の増減額	85	1,790	1,705
現金および現金同等物 の期末残高	4,217	8,126	3,909

主な要因

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕
 税金等調整前当期純利益： 950百万円
 売上債権の減少： 2,187百万円
 仕入債務の減少： △189百万円
 棚卸資産の増加： △1,153百万円

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕
 子会社株式の取得による支出： △7,477百万円
 有形固定資産の取得による支出： △881百万円
 有形固定資産の売却による収入： 410百万円

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕
 短期借入れによる収入： 14,763百万円
 長期借入れの返済による支出： △4,881百万円

2015年3月期 第2四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

中長期計画進捗状況

2015年3月期の見通し

日 本



市場環境

- 前年度からの景気回復基調が下期も持続
- 復興需要とインフラ整備に加え、民間設備投資の高まりに期待

取り組み

- ロープホイスト販売に注力、クレーンビルダーなどの販路拡大
- 4月から新流通制度スタート

米 州



市場環境

- 米国は製造業を中心に需要が堅調に推移
- メキシコ他、中南米に関しては引き続き需要拡大を見込む

取り組み

- コンサートホイスト、ワイヤーロープなど新製品の品揃え拡充
- 一部製品の現地生産化の拡大によりサプライチェーン最適化
- 下期からPEERLESSが連結業績に寄与

中 国



市場環境

- 明確な景気回復感に至らず、不透明
- 東北・内陸部での潜在需要あり
- 自動車向けは需要底堅いも、競争激化

取り組み

- 東北・内陸地域における販路拡大を継続

ア ジ ア



市場環境

- タイ、インドネシアでの日系企業の需要継続するも、成長に鈍化
- 引き続き地域のマクロ情勢の見極めが必要

取り組み

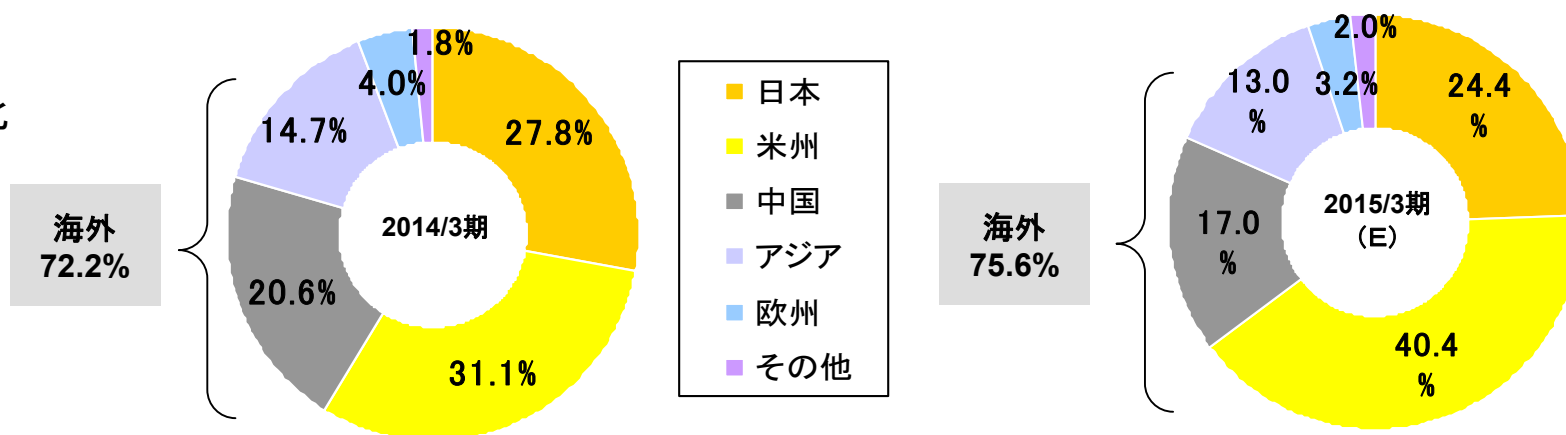
- サービス事業の強化
- 利益管理の強化・拡大

2015年3月期 業績予想(地域別)

(単位:百万円)	2014/3期		2015/3期(E)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	41,855	100.0%	50,000	100.0%	8,145	19.5%
日本	11,624	27.8%	12,200	24.4%	575	4.9%
米州	13,034	31.1%	20,200	40.4%	7,166	55.0%
中国	8,603	20.6%	8,500	17.0%	△ 103	△ 1.2%
アジア	6,168	14.7%	6,500	13.0%	332	5.4%
欧州	1,665	4.0%	1,600	3.2%	△ 65	△ 3.9%
その他地域	759	1.8%	1,000	2.0%	241	31.8%

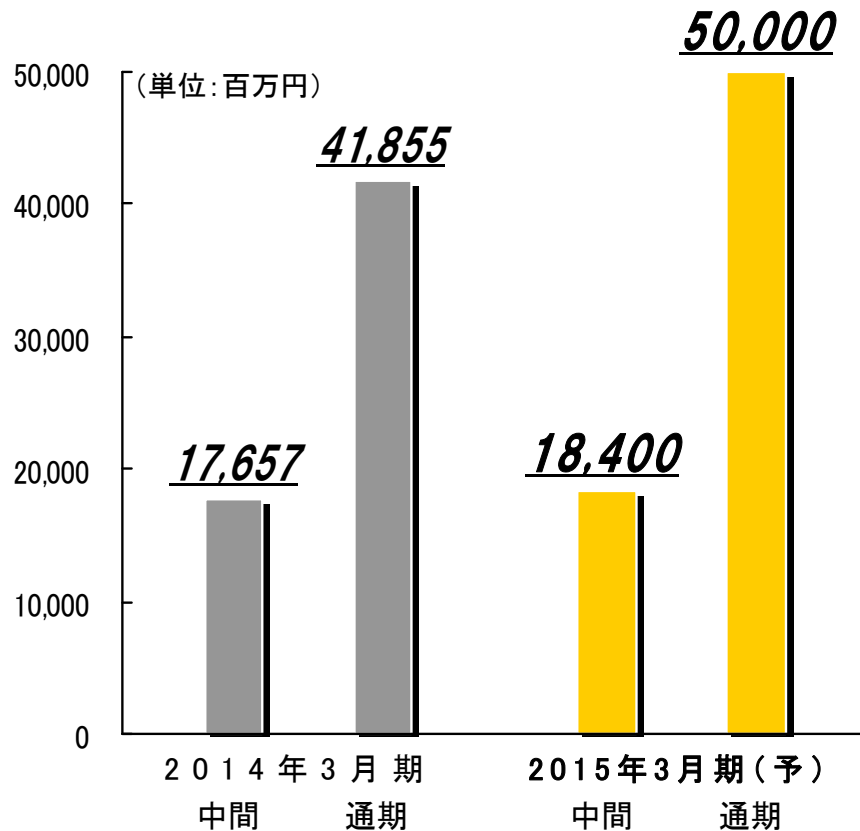
注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円→**103.9円** CAD 95.1円→**95.2円** EUR 134.4円→**136.7円** RMB 15.9円→**16.8円**

地域別
売上高構成比

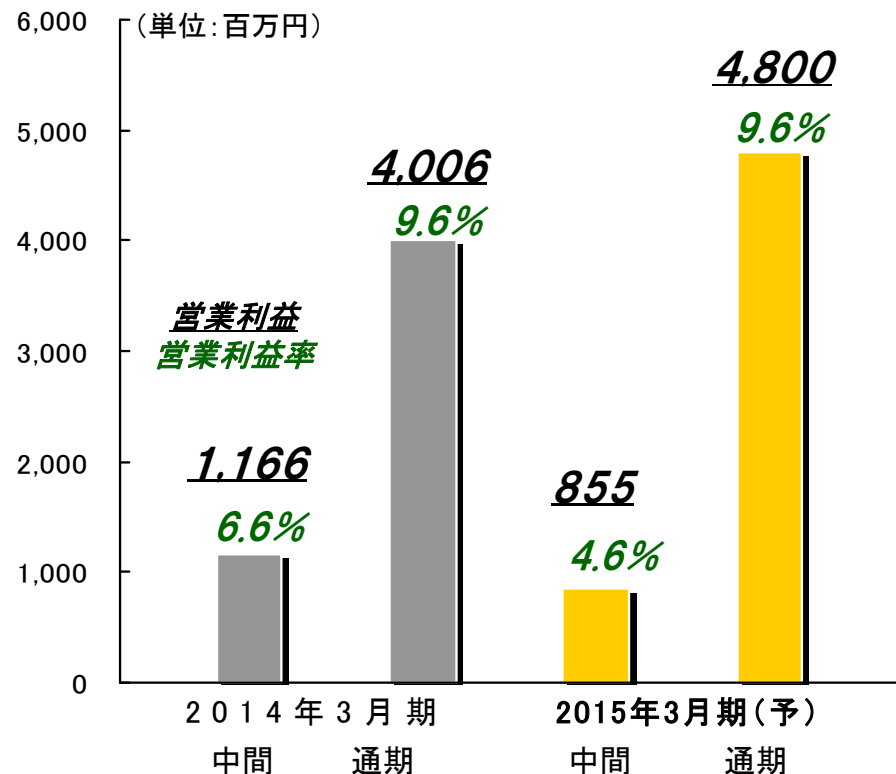


米州、国内市場が業績をけん引
中国・アジア市場の落ち込みを補い、売上高500億円の大台に

売上高



営業利益・営業利益率



2015年3月期 業績予想

EPS、ROEともに改善

(単位：百万円)	2014/3期			2015/3期(E)		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	41,855	100.0%	17.9%	50,000	100.0%	19.5%
営業利益	4,006	9.6%	59.6%	4,800	9.6%	19.8%
経常利益	4,094	9.8%	67.7%	4,600	9.2%	12.4%
当期純利益	2,361	5.6%	130.8%	3,100	6.2%	31.3%
EPS	91.25円	-	130.8%	118.67円	-	31.3%
ROE	12.3%	-	-	≒14.0%	-	-
設備投資額	2,440	-	-	2,020	-	-
減価償却費	954	-	-	1,380	-	-

注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円→103.9円 CAD 95.1円→95.2円 EUR 134.4円→136.7円 RMB 15.9円→16.8円

注 2014年3月期のEPSは、2014年10月1付で実施の普通株式1株2に株の割合での株式分割を反映させた数値です。

2015年3月期 第2四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

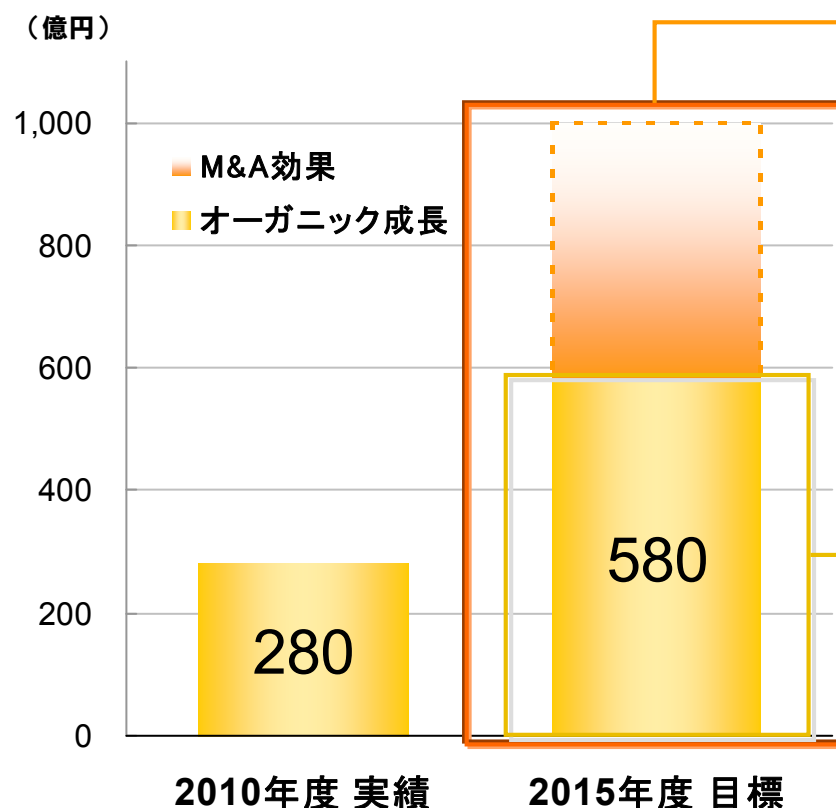
中長期計画進捗状況

中期経営計画(2011-2015)

中期目標

- 日本企業から真のグローバル企業へ
- グローバル売上1000億円企業となる

売上見込および目標



グローバル売上1,000億円企業となる

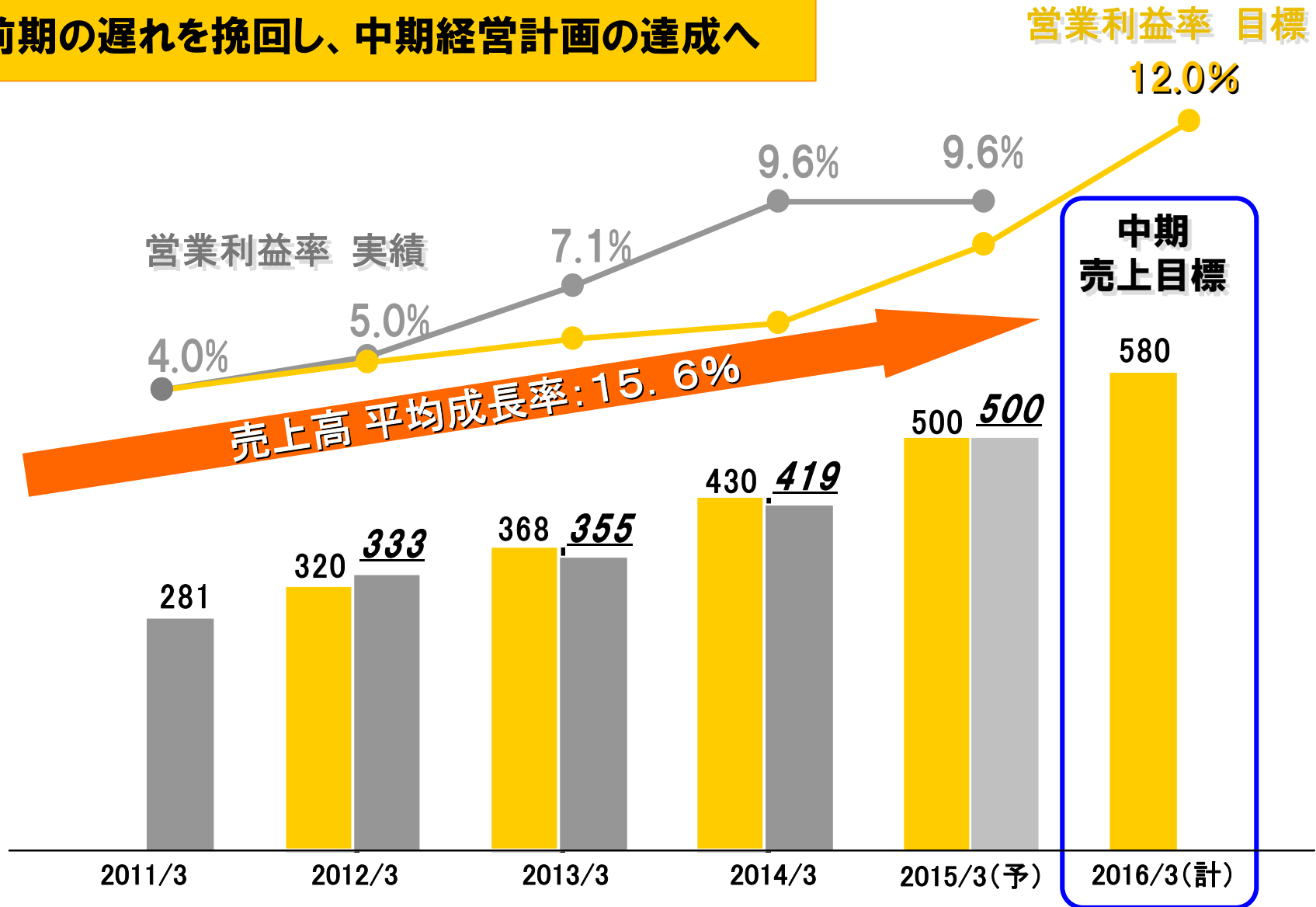
オーガニック成長の売上580億円に加え、積極的なM&Aによるさらなる拡大を進め、売上1000億円を超える企業となる

日本企業から真のグローバル企業へ

キトーがグローバルNo.1のホイストメーカーになるために、今後の5年間は事業規模拡大の大きなチャンスである。日本発の海外事業拡大から、世界各地のリソースを活用した事業拡大へと転換していく

中期経営計画の進捗状況

前期の遅れを挽回し、中期経営計画の達成へ



[8月21日]

北米最大のチェーン製造会社 PEERLESS社の全株式を取得

株式取得額 77百万USD、買収総額 約120百万USD全額を、銀行借入にて

目的

1. 当社グループ最大の売上地域である北米事業の強化
2. チェーン製品の品揃えの拡充
3. 重要部品であるチェーンの製造機能の強化

製品群 (%:売上構成)

ホイスト機器向けチェーン

- ・オーバーヘッドリフティング向け (約25%)
チェーンやスリングチェーン



- ・ビームやトングといった
カスタムリフティング向けのチェーン

積荷用、牽引、固定用のチェーン

(約20%)



ハードウェアチェーン

(約15%)



タイヤチェーン

(約25%)



(錨用、係留用) 海洋用チェーン

その他

(約5%)



(約10%)

参考資料：取扱製品

取扱製品の分類		手動製品	電動製品	クレーン、その他
標準製品	顧客の一般的なニーズに対応した規格製品	 <p>手動チェーンブロック</p> <p>レバーブロック</p>	 <p>電気チェーンブロック</p> <p>ロープホイスト</p>	 <p>サドル・クレーンコンポーネント</p> <p>スリング製品</p>
特殊製品	顧客の様々なニーズに合わせてオリジナル設計・制作した製品	 <p>手動チェーンブロック(100t)</p>	 <p>ライトクレーン</p> <p>天井走行クレーン</p>	 <p>システムクレーン</p> <p>マニピュレータ</p>
その他	アフターサービス等	各種部品の提供、メンテナンス等		
売上シェア：73.2%				
売上シェア：14.2%				
売上シェア：12.6%				

 = 当社の主要製品

For the Global Next Stage

KITO

KITO group global unified slogan

常にお客様の期待を上回る価値を提供し続け、市場におけるキトーブランドの価値を最大化し、「真のグローバルNo. 1のホイストメーカー」を目指します。